

かわむら **こども** クリニック NEWS

Volume 7 No 06

7 1 号

平成11年 6月 1日

発行 かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.ifnet.or.jp/kazu.k/>

子どもの病気 うそ?ほんと? 3

院長

誤解されている子どもの病気と薬について、今回は例を挙げて解説してみましょ。

内容のほとんどは、今までの新聞記事で紹介されています。もう少し詳しく知りたいときには、今までの記事を参考にして下さい。

・早めに風邪薬を飲むと重くならない。

これはある意味では正解といえますが、必ずしもそうではありません。テレビのコマーシャルでも「早めのカゼに...」等キャッチがあります。しかし注意してみると諸症状の緩和という言葉も出てきます。つまり風邪薬は、風邪を治す薬ではなく、症状を緩和する薬です。つまりインフルエンザにかかれば誰でもインフルエンザの経過を取るもので、薬を飲んだからといって治りが早くなるものではありません。服薬によって症状が緩和するので、病気が軽くなったような気がするのです。また昔から注射をすると治るということを聞きますが、これも同じで症状を楽にする程度と考えておいたほうがいいでしょう。

・風邪をひいたので、抗生物質が欲しい。

ちょっと強烈ですが、抗生物質は風邪には効きません。抗生物質は、単に細菌を殺すだけの薬で、ウイルスによって起こる風邪には効果はないのです。しかし風邪でも使うこともあるのです。熱がある場合でウイルスと細菌との区別がつかない場合には、抗生物質を使います。直接鼻水や咳を止める作用がないことを覚えておいて下さい。抗生物質使うと下痢を起こしたり、長期間にわたって安易に使い続けると薬が効きにくい菌（耐性菌）を増やしたりすることも問題となっています。

・前回の風邪薬が効いたので、同じ薬が欲しい。

この気持ちも良くわかります。しかし風邪薬（抗生物質も含め）は、同じように見えても内容が違うことがあります。また風邪の種類や時期によっても、薬の効果は変わっ

てきます。治る時期に使った薬は、効果があるように見えるものです。病気の経過や症状によって、使う薬が違うことを知っておく必要があります。医師はその時の症状などを判断して、最適な薬を処方しているのです。

・早く治したいので、強い薬が欲しい。

子どもを楽にしてあげたいとか保育園に預けて働いたりしていると、早く治したいと考えるのが親心です。しかしよく考えてください。例えば弱い薬を使って、治すことを遅くするという事は、あるのでしょうか。もちろん、そんなことはありません。咳がひどければ咳止めを強くするとか、鼻水が止まらなければ薬の量を多少多めに投与するとか、工夫しています。軽い咳に強めの薬を使ったからといって、病気が早く治るものではありません。強い薬というのが正しいかどうかはわかりませんが、劇薬に指定されている喘息の薬などもあります。しかし喘息の薬は普通の風邪には、適応が無い（投与しない）ものです。つまり薬というのは強い弱いと考えることより、病気や症状に合わせた薬が必要だということを知っておいてください。

・風邪薬を飲むと下痢をする。

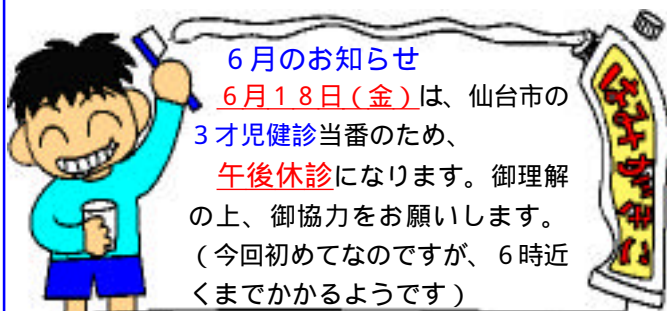
確かに抗生剤を飲むと下痢をする子どもがいます。これは抗生物質によって腸内細菌が変化を起こすためと考えられています。しかしウイルス性胃腸炎（吐いたり下痢したりする風邪）や突発性発疹でも下痢が見られます。実際には抗生物質の影響よりも、ウイルスによる腸炎の方が多いのです。抗生物質による下痢を心配するあまり、十分な治療ができないことは子どもにとってはデメリットです。

まだまだたくさんありますが、紙面の都合で今回はこの位にします。誤解はかえって子どもの症状を悪化させたり、お母さんたちに必要以上のストレス、心配を与えてしまいます。病気や対処法についての正しい知識を身に付け、子どもと共に母さんも楽になる方法を考えてみましょう。

（第1回お母さんクラブの内容の一部です。）

新しい看護スタッフ（パート）です。当面は午前中になります。よろしくお願いします。

はじめまして。2人の子どもを持つママさん看護婦の伊藤です。子供たちが嫌がらずに診察ができるように、明るく楽しくがんばります。 伊藤 陽子



6月のお知らせ

6月18日(金)は、仙台市の3才児健診当番のため、**午後休診**になります。御理解の上、御協力をお願いします。（今回初めてなのですが、6時近くまでかかるようです）

読者の広場

電子メールで、お礼のメールを頂きましたの紹介します。自転車で転倒して頭を打って受診した、青葉区のSさんからでした。“Y.Sの母です。昨日は時間外にもかかわらず、すぐ診ていただいてありがとうございました。6時50分以降4回吐きましたが、ご紹介いただいた市立病院脳神経外科を受診し、CTその他見てもらって点滴してもらってきました。脳内の出血は見られず、吐いたのはそのせいではないとおもわれるとのことでした。骨折の可能性は残っているけれど、治療の必要はないとのことでした。母親の不注意でこんな思いをさせて、と母のほうが動揺している状態でしたが、すぐ川村先生に診ていただいて、気をつけていなければならないところなど整理していただいたおかげで、吐いてもあまりおろおろしないですんだと思います。ありがとうございました。今後は、また同じことを繰り返さないよう十分気をつけます。余談ですが、転んだときすぐにそばにいた知り合いの女性が駆け付けてくれ、力づけてくれました。お母さん仲間（先輩）のありがたさも感じた事件でした。時間外にもかかわらず親切に対応いただいた皆様にお礼を申し上げたくて、送ります。まずは、お礼まで、ありがとうございました。”本当に何でもなくて、安心しました。お母さん仲間の助け合いも、本当に大切なことです。「遠くの親戚より、近くの他人」という言葉を、思い出してしまいました。『お母さんクラブ』の目的のひとつが、友達を見つけることです。友達がいない方、うまく利用してください。



もう一つ、電話帳に記載してある診療時間についての投書を、宮城野区のSさんから頂きました。“診療時間が電話帳に、8:30～、14:00～とのっていたのできてみたら、実際は30分ずれの9:00～、14:30～だった。表示の時間がちがうと思う。受付時間とかの表現が正しいのではないのでしょうか。”確かに御指摘の通りです。しかし電話帳に載せられるのは、基本的には診療時間です。また曜日によって健診後の普通の診療開始の時間も変わります。電話帳のスペースのこともあり、おおざっぱな時間しか書けなかったのです。また受付時間で表現すると、夕方は17:30までになってしまうのです。ところがお勤めや託児所の都合で、17:30分以後に受診される患者さんも多いのです。その点を考えて18:00までという表現をしています。また実際には、9:00前に診療開始することがほとんどです。親御さんたちのことを考えているということを知っていただければと思います。どうぞ、よろしく御理解ください。

次に当院の受付時間と診療時間を、もう一度示します。

診療時間	一般診療	健診・予防接種（予約制）	一般診療
月曜日	9:00～12:00	14:00～14:30	14:30～18:00
火・水・金曜日	9:00～12:00	14:00～15:00	15:00～18:00
木曜日	9:00～12:00	午後休診	
土曜日	9:00～12:00	14:00～14:30	14:30～16:00
日曜祝日	休診		

受け付けは、診療時間の30分前で終了です。但し午前中は12:00前、午後月・火・水・金は18:00、土は16:00まで来院していただければ結構です。

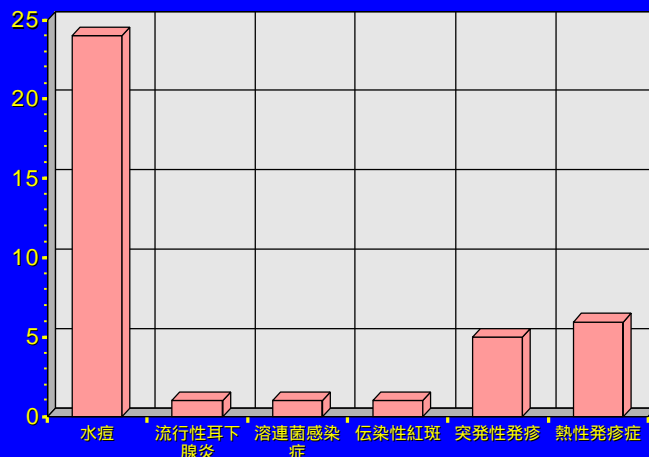
『お母さんクラブ』のお知らせ

第1回の「子どもの病気 うそ？ほんと？」には、19人のお母さん方が集まり、誤解されている子どもの病気、症状、対処法について、例を挙げて解説しました。質問も多く出て、活気がある会を開くことができました。予定時間を、30分オーバーしてしまいました。

第2回は、6月17日（木）福沢市民センターで14:00から。「夏になると心配な子どもの病気や過ごし方」についての話です。奮って、御参加ください。

日本脳炎予防接種 7月末まで、実施中です。標準年齢は3才となっていますが、早めに接種しても問題はありません。但し、他の予防接種を済ませていることが条件となります。接種方法などについては、看護婦にお聞きください。

5月の感染症の集計



水痘がまたまた流行しています。他には特別な流行性の疾患はありません。高熱が続く集団で発症する風邪もありました。ある保育園では2/3が罹ってしまいました。県の感染症情報では、中旬までインフルエンザウイルスが分離されていました。しかしこの集団風邪がインフルエンザかどうかは、確定されていません。

編集後記

先日NHKで、少子化の問題が取り上げられていました。小児科医では以前からの問題でしたが、社会的には大きな問題としては取り扱われてはいません。皆さんも深刻には考えていないはずですが、でも将来的に、恐ろしい未来が予測されています。今回はこの問題に触れてみたいと思います。

